

年間6万人を超える救急患者の初期診療から入院・集中治療まで積極的に関わる研修

熊本赤十字病院

03 JAPANESE RED CROSS KUMAMOTO HOSPITAL

KUMAMOTO CLINICAL TRAINING HOSPITAL GUIDE BOOK RESIDENT

JAPANESE RED CROSS KUMAMOTO HOSPITAL

“医療の原点である“救急”での豊富な症例を通して理想の医師像を追求できる！”

Interview

研修医 吉丸 峻
RYOU YOSHIMARU

年数 / 臨床研修医2年目
出身大学 / 宮崎大学
出身地 / 宮崎県宮崎市

救急と総合内科を重視し「目の前の患者から逃げない医師」に

当院の研修の目的は、「目の前の患者から逃げない医師」の育成です。救命救急センターと総合内科を中心に、プライマリ・ケアに重きを置いています。24時間365日、一次から三次まで年間6万人、救急車8千台を受け入れる「総合救命救急センター」での研修を重視。さらに、小児救命救急センター指定で年間2万人以上を受け入れる「こども医療センター」での研修や、ドクターヘリへの体験搭乗、年6回の災害救護訓練など、独自の学びも豊富です。



2017年度病院実績



初期研修は救急をしっかり経験でき、実践的に医療を学べる病院を、九州圏内で探していました。気になる病院は何度も見学に行き、同じ研修医の先輩がどう成長されているかまでチェック。中でも、通年で救急対応を経験できる「熊本赤十字病院」は理想の環境でした。実際、月5〜6回はERに入り、ファーストタッチは研修医が行います。救急車の来院数も多いので、救急をはじめ症例が豊富で、治療や手技を実践的に学べます。学習意欲が刺激される日々です。そして、屋根瓦式の教育体制で教え好きな上級医や専攻医(後期研修医)が多いのも、当院での研修を決めた理由の1つでした。特に、自分を指導してくれる専攻医は身近な目標です。自分も同じようにカッコいい医師になりたいと自然に思える環境は、とても恵まれていると思います。来年からこの病院で、引き続き内科の専攻医として後期研修を受けます。先輩達のように意欲的に学び教えることができる医師に自分もなれるよう、頑張りたいです。当院での初期研修を通して、救急での適切な判断力や、医学的な知識・技術はもちろん、「患者さんから逃げない」医療への心構えや医師としての振る舞い、習慣が身についたと思います。これは、私の生涯にわたる医師人生の大事な礎となると思います。救急を通して多くの経験をしたい人、教えられるだけでなく教えることも大事にしたい人は、ぜひ一緒に当院で学びましょう。食堂も安くておいしいですよ！



熊本赤十字病院
第一救急科副部長
加藤 陽一
Youichi Katoh

●指導医からのコメント

当院では指導医-専攻医-研修医の屋根瓦方式の指導体制で、研修医も主体性を持って治療や手技に当たれます。また、研修医の出身大学は様々で、全国各地から来た同期と切磋琢磨できるのも魅力。将来の専門に進むとしても、ジェネラリストとしての基盤作りをしたい研修医をお待ちしています！

熊本赤十字病院

2019年度臨床研修プログラム

プログラム
最新情報は
コチラ



■初期臨床研修 週間スケジュール

2年次: 診療科目/内科

曜日	月	火	水	木	金
朝		研修医講義			
午前	入退院カンファレンス、病棟管理				
午後	病棟管理	外来研修(2年次のみ)	回診、病棟管理	外来研修(2年次のみ)	病棟管理
夕方	内科講義		内科カンファレンス		

■初期臨床研修 年間スケジュール

〈ER重点〉初期臨床研修プログラム

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	麻酔科	救急	外科	産婦人科	小児科	内科						
場所	熊本赤十字病院(基幹型)											

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	救急	精神科	地域	選択科研修							
場所	熊本赤十字病院(基幹型)		協力型病院、協力施設			熊本赤十字病院(基幹型)						

〈総合診療重点〉初期臨床研修プログラム

1年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	麻酔科	救急	外科	産婦人科	小児科	内科						
場所	熊本赤十字病院(基幹型)											

2年次

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
分野	内科	救急	精神科	地域	選択科研修							
場所	熊本赤十字病院(基幹型)		協力型病院、協力施設			熊本赤十字病院(基幹型)						

後期研修

新専門医制度においては、「内科」「外科」「救急科」「総合診療科」「産婦人科」の5領域の基幹施設として専門研修プログラムを整備。(詳細はホームページを参照)

教わり、そして教える研修実践経験の中から得る技術と知識

プログラムの最大の目的は「どのような状況においても、患者から逃げず、自分のできることを最大限に行い、かつ自分の限界を見極め、助けを呼べるようになること。」のために、3つのポイントを置いています。

■ER重点/年間6万人以上の患者さんが来院する救命救急センターを持つ当院では、子どもからお年寄りまで、軽症者から重症者まで様々な患者さんが受診されます。当院の救急研修は、救急科をローテーションする期間だけでなく、1年を通じて救急外来担当を受け持ち、月5~6回は準夜帯の救急外来を指導医のもとで研修します。軽症の患者さんを多数診察し、その中から重症患者を見逃さない能力、救急車で来院されるような重症の患者さんに対応する初期診療能力、この2つを(ERで重点的に)2年間かけて習得することで、プライマリ・ケア対応能力が格段に身に付きます。

■ハンズオン/当院の指導方法は、積極的に治療・手技を経験させる「ハンズオン」実践主義です。もちろん、指導医のサポートと事前のシミュレーション訓練はかかせません。テキストを読むだけ、見学だけでは、自分の本当の知識や技術にはなりません。実践経験して初めて、脳裏に深く刻まれます。

■屋根瓦式指導/1年次では、2年次研修医のアシスタントとしてチームで診療に加わり、2年次では、1年次を指導しながら主治医として治療に当たります。「教えることは学ぶこと」の理念のもとに、1年次~2年次~後期研修医~指導医の3~4枚の屋根瓦指導方式で研修を行います。

病院概要(2018年度時点)

研修・
認定施設の
一覧はコチラ



	医師数 215名		研修医数 初期 32名 後期 23名		指導医数 67名		病床数 490床 (一般)
--	-------------	--	--------------------------	--	-------------	--	---------------------

標榜科

内科、血液・腫瘍内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺内分泌外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、心血管外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、歯科・歯科口腔外科、救急科、精神腫瘍科、病理診断科

専門医

内科8名、血液・腫瘍内科3名、神経内科4名、呼吸器内科2名、消化器内科9名、循環器内科6名、小児科12名、外科10名、乳腺内分泌外科2名、整形外科10名、脳神経外科4名、心血管外科8名、小児外科2名、形成外科2名、皮膚科1名、泌尿器科3名、産婦人科5名、眼科1名、耳鼻咽喉科2名、放射線科7名、麻酔科11名、救急科11名、病理診断科1名

指導医

内科3名、血液・腫瘍内科3名、神経内科2名、呼吸器内科1名、消化器内科8名、循環器内科4名、小児科7名、外科6名、乳腺内分泌外科1名、整形外科2名、脳神経外科1名、心血管外科3名、形成外科2名、泌尿器科3名、産婦人科3名、麻酔科4名、救急科2名



研修医募集要項

応募資格 ①第114回医師国家試験(2020年2月実施)を受験予定の方又は、医師免許取得者で卒業臨床研修を未実施の方
②マッチング参加者

応募締切・試験日程 未定(ホームページを確認ください)

試験内容 書類審査、小論文、面接試験(予定)

給料(月額) 1年次/基本給300,000円
2年次/基本給340,000円

諸手当 賞与有、時間外手当有

年次有給休暇 有

宿舎 職員用宿舎有(単身用・1LDK・駐車場付・病院から徒歩5分以内)

加入する保険等 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険の適用有

勤務時間 週38時間45分 平日午前8時30分から午後5時05分(休憩50分)

時間外勤務 有

当直回数 準夜勤 約5~6回/月

有給休暇 年次有給休暇/年間21日(採用年は15日)・夏季休暇(1週間連続の休暇取得が可能)・慶弔休暇等の特別有給休暇有

健康管理 職員健康診断(年2回)、各種予防接種、メンタルヘルスカウンセリング制度

医師賠償責任保険 病院加入有、個人加入任意

外部研修 教育研修への参加機会(参加費用補助有)(日本赤十字社本社研修、日赤医学会等)

その他 職員食堂、院内職員用大浴場、仮眠室、ランドリー完備、医局内研修医室有、白衣(KC)・救急当直用スクラブ・PHSの貸与制度、互助会・院友会、院内職員用トレーニングルーム・音楽室・リラクゼーションルーム、テニスコート・グラウンド、各種クラブ・サークル活動有

所在地 〒861-8520 熊本市東区長嶺南2丁目1番1号

担当部署 熊本赤十字病院/診療支援課 教育研修担当

TEL 096-384-2111

FAX 096-384-3939

E-mail rinsyokensyu@kumamoto-med.jrc.or.jp

URL www.kumamoto-med.jrc.or.jp

募集要項の最新情報は
ホームページをご覧ください。
www.kumamoto-med.jrc.or.jp/
special/resident

